

## 学校関係者評価（保護者アンケート）の評価集計報告

北海道大谷室蘭高等学校  
学 校 評 価 委 員 会

本校では、平成 20 年度より「学校評価に関する規定」に基づき、学校評価委員会を設置し、教育活動等の成果を検証し、生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指し、学校評価（自己評価、学校関係者評価）を実施することになりました。今年度は、12 月に保護者の皆様にアンケート調査という形でご協力をお願いし、平成 31 年 1 月 21 日までに提出していただいた内容の評価集計をご報告いたします。今年度も、多くの皆様から貴重なご意見等をいただきましたので、今後、関係分掌や教科等で検討しながら来年度の教育活動に反映させていきたいと考えております。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

### ① アンケート調査方法

本校の教育活動や学校運営に関する質問事項 16 項目に対して、4 段階（4～1）の中から選ぶ回答方式で実施。ただし、学年・男女別は必ず記入、名前は任意記入。

### ② アンケート実施期間及び回収期間

平成 30 年 12 月 21 日～平成 31 年 1 月 21 日

### ③ アンケート回収状況及び回答別数

1 年生 101 通（76.5%） 2 年生 114 通（85.0%） 3 年生 67 通（55.3%）

**全体 282 通（72.8%）**

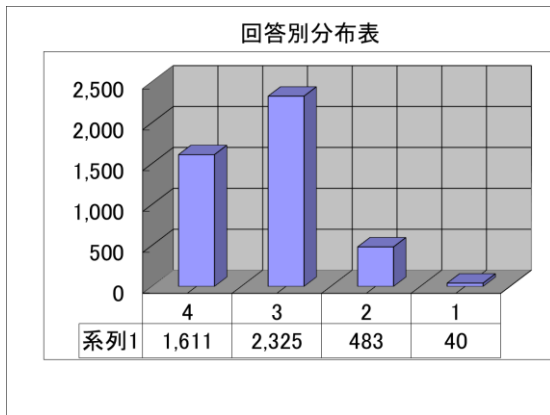
### 【各項目の各回答集計結果（全学年）】

※評価基準 回答 4 = よく当てはまる 回答 3 = やや当てはまる 回答 2 = あまり当てはまらない 回答 1 = 全く当てはまらない

評価項目

NO	評 価 項 目	4	3	2	1
1	お子さんの様子などから本校への入学について満足している。	163	105	12	2
2	建学の精神を理解し、教育スローガンに基づいた教育活動が実践されている。	95	166	13	0
3	学級・学年通信、PTA会報誌などは学校の様子を知る上で役立っている。	124	145	12	1
4	学校は保護者の願いや声に応えた教育を積極的に実践している。	82	161	32	4
5	一人ひとりを大切に、わかりやすく興味・関心の持てる授業が展開されている。	77	163	37	3
6	習熟度授業を含め、系に応じた授業展開と個々の学力を伸ばす授業が行われている。	92	154	29	4
7	お子さんの学習状況や評価（評価方法含む）がわかりやすく説明されている。	81	160	40	1
8	学校はお子さんたちに基本的な生活習慣を身に付けさせるための指導を実践している。	110	156	16	0
9	学習、生活について家庭と学校（担任・顧問）の連携が図れている。	74	142	60	3
10	制服を正しく着用し、髪などきめ細かい指導が行われている。	132	131	15	3
11	学校行事は子どもたちにとって充実したものが行われている。	156	115	10	1
12	事故や問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が的確に行われている。	80	142	43	4
13	3年間を見通した組織的、計画的な進路指導が行われている。	99	138	38	0
14	進路に関する情報提供が迅速かつ適切に行われている。	81	143	47	5
15	進路講習や個人面談など個に応じた指導が行われている。	100	146	26	5
16	PTA活動について十分な情報が伝えられている。	65	158	53	4
		1611	2325	483	40

## 【各項目の各回答集計結果（学年別）】



評価基準 学年 項目	4			3			2			1		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	54	<b>62</b>	47	45	<b>43</b>	17	2	<b>7</b>	3	0	<b>2</b>	0
2	34	<b>36</b>	25	61	<b>68</b>	37	4	<b>6</b>	3	0	<b>0</b>	0
3	48	<b>46</b>	30	48	<b>62</b>	35	5	<b>5</b>	2	0	<b>1</b>	0
4	30	<b>33</b>	19	58	<b>65</b>	38	13	<b>11</b>	8	0	<b>3</b>	1
5	29	<b>28</b>	20	58	<b>68</b>	37	13	<b>16</b>	8	0	<b>1</b>	2
6	37	<b>32</b>	23	48	<b>70</b>	36	14	<b>9</b>	6	0	<b>2</b>	2
7	33	<b>31</b>	17	54	<b>64</b>	42	14	<b>18</b>	8	0	<b>1</b>	0
8	44	<b>42</b>	24	52	<b>66</b>	38	5	<b>6</b>	5	0	<b>0</b>	0
9	30	<b>29</b>	15	44	<b>54</b>	44	25	<b>29</b>	6	1	<b>1</b>	1
10	56	<b>47</b>	29	41	<b>58</b>	32	3	<b>6</b>	6	0	<b>3</b>	0
11	52	<b>61</b>	43	46	<b>46</b>	23	3	<b>6</b>	1	0	<b>1</b>	0
12	27	<b>32</b>	21	48	<b>58</b>	36	19	<b>17</b>	7	0	<b>4</b>	0
13	31	<b>34</b>	34	49	<b>65</b>	24	17	<b>13</b>	8	0	<b>0</b>	0
14	26	<b>26</b>	29	51	<b>63</b>	29	20	<b>22</b>	5	2	<b>0</b>	3
15	28	<b>34</b>	38	55	<b>68</b>	23	14	<b>9</b>	3	2	<b>1</b>	2
16	24	<b>26</b>	15	50	<b>64</b>	44	25	<b>22</b>	6	2	<b>1</b>	1

### 【回答への取組みについて】

#### 建学の精神及び教務(授業・学習)について

- ・建学の精神は、本校の教育活動の根幹をなすものであり、常に建学の精神の具現化を目指すものでなければなりません。その為には、教職員が共通認識をもって宗教教育を柱とした教育活動を展開して行くことが何より大切です。今後とも、本校の教育スローガンである「きょうも会えたね あしたも楽しみ」と思える学校作りを目指して教育活動に邁進して参ります。
- ・模擬試験時のアンケート結果からみても本校生徒の家庭学習時間は少ないようです。「家庭学習の習慣」を身に付けることは、学年・系列に限らず大事なことです。学校全体で取り組むべき課題と考え、次年度に向けて対応していきたいと思えます。
- ・学習について質問があれば授業が終了した時点ですぐにであれば、教科担任も時間が取りやすいと思えます。不在の場合は、他の教員が適切な対応をいたしますので、気軽に声をかけてください。
- ・生徒の質問（内容にもよりますが）に対して、安易に答えだけを求めず、まず、生徒自身で問題を解くよう指導する場合があります。しかし、生徒自身で問題に取り組み、調べ、考えた上での質問に対する上記のような対応でしたら、適切とは言えません。教員自身も生徒とのコミュニケーションを第一と考え誠実に対応するよう研鑽を深めていかねばと思っております。学習全般について不安がある時は、いつでも遠慮なく担任や教科担任に相談してください。

#### 生活指導について

- ・生徒の安全確保のため、学校に届く不審者情報を可能な限り生徒へ連絡して参ります。

#### 部活動について

- ・部活動の休みについて  
今後とも部顧問の配慮の下、試行して参ります。校内的には、定期試験1週間前より期間中を含め、調整程度の練習が可能となっておりますのでご理解下さい。
- ・各部のスケジュールを、事前に生徒保護者へ連絡できるよう促して参ります。
- ・生徒会活動における帰宅について、原則校則を遵守させております。そして、個別事案につきましては担当者と話し合いを持ち対応しておりますが、学校祭など大きな行事の場合、保護者に協力を願うことがあります。
- ・部活動における環境整備につきまして、引き続き進めて参ります。

## 進路指導について

### 1. 3年間の進路指導について

1年次より、LHR（年間6回）を利用して、進路に対する考え方を養いつつ、ベネッセ模試や進研模試の3回～4回実施、小論文模試、SPI模試、クレペリン検査、進路適性検査を行い、学力の確認や進学心・職業感を高めています。土曜講習や3年次放課後講習、夏期冬期講習、進路相談週間も実施しています。また、1年次より、校内進路ガイダンスを実施し、3年次には企業の方に職業講話やマナー指導をして頂いています。インターンシップ・看護体験や介護施設見学・介護体験・就職希望者の職場見学もあります。3年間で計画的に進路決定ができるように取り組んでいます。

<進路関係の取り組み>

- ①ロングホームルーム「進路の時間」（年間6回）
- ②進路適性試験（各学年最低2回） 結果は、学期末等にご家庭に送付
- ③模擬試験 実施予定日と範囲表を年度初めに生徒に配布、結果はご家庭にも送付
- ④講習（土曜講習・放課後講習・夏期冬期講習・各種検定講習など）
- ⑤校内進路ガイダンス（大学・短大・専門学校・企業からの講師来校）  
4・6・7・8月（3年次）2月（2年次）3月（1・2年次）
- ⑥進路学習（毎週1回、スポーツ選択以外の生徒が2時間続きで受ける）  
リサーチワーク・グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーションの力を育成
- ⑦インターンシップ・職場見学

### 2. 進路に関する情報提供について

- ・校外進学ガイダンスや、オープンスクールなどの案内（3年次担任を通して）
- ・資料請求ブースの常設
- ・学校のホームページにて進路行事の様子の発信
- ・PTA会報に進路状況を記載（学年末）
- ・保護者進路説明会の実施（本年度2月3日実施 78名参加）本校の進路体制や本年度の進路経過報告をお話して資料を配付しました。3年生生徒6名からも体験談などの話がありました。
- ・生徒、保護者への情報提供を促進しつつ担任を含む3者との情報共有を図ります。
- ・書類管理について注意を図ります。

### 3. 受験方法により問われる力が増減するが、土台は学力であること（1・2により期待する伸ばす力の一つ）

- ・大学側が高校生に要求するものは、基本的に学力です。どのような選考方法であっても学力は外せない選考基準となります。それが、筆記試験での学力表示（点数）か、高校から出される調査書の評定（普段の学力を高校独自の視点から定めた数値）かの違いだけです。当然大学側は、高校から出された評定の信憑性を確認しますので、本校評定が他の高校と比較し、どのような位置関係であるかも把握していますし、それが本校の対外的評価となって参ります。単に生徒を入学させればよい訳ではなく、生徒の学力が身に付かなければ、真に希望する大学には入学できないし、仮に希望の学部学科の大学に入学し卒業をしても、その職業に就ける可能性が低くなるからです。

### 4. 教員と生徒そして保護者との認識のずれを、最小限もしくは無くすことが進路指導では肝要と思われる。この度のケースは、あらゆる状況を想定した対応（リスク含む）を提示してはいるが、生徒自身の学力やそれに対する取り組みを、保護者に正しく伝えきれていないことが原因と思われる。今後、このような事態が起きないように、情報を正確かつ丁寧に、生徒・保護者に伝えることを、全教員で確認して参ります。

### 5. 進路指導部のアドバイスの下、学年（担任中心に）主体に1年生から個々に応じた進路指導を実施します。

- ・進路相談週間や個人面談週間（学年主催）の設定（\*必要に応じていつでも可能）
- ・個別添削指導・受験サプリの案内・面接指導

## その他

- ・ P T A 活動で、広報誌への掲載内容を幅広く求めていきたいと考えております。
- ・ 地震により体育館に被害があり、補修工事により長期間ご不便をおかけしておりましたが、2月中旬ようやく補修工事が終わり、地震前の状態に戻ることができました。
- ・ この度の地震では、早朝とのこともあり生徒への連絡が中心となり、臨休などを含めた文書配布等がなされておらずご不信を招きました。これからは、状況に応じた連絡体制を考えて参ります。
- ・ 教職員は、基本的に校舎内に居ることが求められておりますが、放課後、校地外で部活動を行っている場合や管理職の許可の下、校舎内外から一時的に離れることを認められた場合不在となりますので、急な場合以外は、メモを机上に置いたり、他の先生に伝言を頼むなど模索することも必要と考えます。(文面からは努力の過程がみえなかった)
- ・ この度、留学生本人ならびに保護者の皆様にたいへんご心配をおかけ致しました。今後、関係者との連絡をより密接に行うことで再発を防止したいと考えております。

### 【保護者アンケートに記述があった内容について】

- ・ 学校から親（主に寮）への情報提供の充実について
- ・ 毎日の学習体制について
- ・ 部活動と学習の両立について
- ・ 学校の施設、設備の充実について
- ・ 評価基準について
- ・ 充実した高校生活を送れたことへの感謝について
- ・ 部活動と進路について
- ・ 担任の先生や部活指導者等への感謝について 他

保護者の皆さまから各設問の回答と記述でいただいたアンケートに関しましては、私達教職員が真摯に受け止め、それぞれの関係分掌や教科等で吟味検討しながら、新年度の方針に組み、日々の教育活動に生かしていきたいと考えております。なお、記述でいただいた内容につきましては、全ての教職員で確認しておりますので、上記内容（教務、生徒指導、進路指導他からのコメント）に沿って要望等検討して参りたいと考えておりますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

最後に、3年生の保護者の皆さまには、本校の教育に多大なご理解とご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

卒業証書授与式では、教職員一同、保護者の皆さまと共にお子さんの門出をお祝いしたいと思います。

平成31年3月22日

北海道大谷室蘭高等学校  
学校評価委員会